

旅人（バックパッカー）が書き、旅人が読む、
旅人のための旅ライフフリーペーパーマガジン

Brali Vol. 13



Photo(C)marrontino



Khaosan Tokyo Guest House

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

日本で海外の気分を楽しめる!

カオサン東京ゲストハウスは、東京、京都、福岡、別府に計8つの店舗を展開しています。
国際交流をしたい! 安く快適に泊まりたい! 楽しくにぎやかに滞在したい方!
観光、就職活動、一人旅等、あらゆるお客様に満足していただける宿泊施設です。



TOKYO

NINJA

1泊/2200円~

ORIGINAL

1泊/2000円~

SAMURAI

1泊/2500円~

ANNEX & SMILE

1泊/2000円~

KABUKI

1泊/3000円~

KYOTO

1泊/2000円~

BEPPU

1泊/2000円~

FUKUOKA

1泊/2400円~

THIS IS YOUR BACKPACKER

旅人の数だけ違った
スタイルがあっという。

これはあなたのバックパッカーライフです。

LIFE.

バックパッカーで旅をするって特別なことですか？あなたは旅バカですか？
もしあなたがクローゼットの中にあるバックパックに想いを馳せるなら「旅バカ」です。
苦楽を共にしてきた数々の相棒を捨てられずにいるなら、間違いなく「旅バカ」です。

残念なことにそれは **不治の病** です。一度目は衝撃の印度
2度目はうまくやれるナマステ 3度目はもう病気です！

バックパッカーの大好物, 最北端, 最南端, 最西端, 最東端, 赤道, 南北回帰線,
洞窟, 離島, そして僻地, 辺境, 秘境, 越境…

越境！ バックパッカーの妖しい与太話に散りばめられた真実、
そして名もなき旅人たちが残し受け継いできた、

「金の北米、女の南米、
数々のバックパッカー名言&格言。

耐えてアフリカ、歴史のアジア、何もないのがヨーロッパ、
問題外のオセアニア」放浪 流浪 徘徊 ジプシー ノマド ボヘミアン etc...
行った国の数はそんなに大切なのか？ 世界一周って何ですか？ あのガイドブックの裏話。

J-Backpacker styleの系譜。

それは『何でも見てやろう』から始まった。結論のでないあの愛しきバックパッカー論の数々。
「日本人宿/ガイドブック/節約ピンボー旅/夜のパトロール」カニ族全盛期から時は刻まれ、
いまやバックパッカー3.0 爺ちゃんも両親も旅人の3世代目バックパッカー出現！
スマホ, Wi-Fi, LCC, ナチュラルボーン…デジタルネイティブで、ソーシャル・ヒッピーな

こちら側の世界へようこそ。 **旅は変わっちゃまったのかい？**
デジモンバックパッカーが闊歩する時代の到来。

バックパッカー新聞、 旅の環境や手法が変わっても、やっぱり旅は人
創刊です。 との出逢いだ、やっぱり人が断然オモシロイ。
わたしたちは、そんなバックパッカー現役OB/OG、
そしてこれからバックパックを担いで旅に
出る仲間のベースキャンプとなりたい。

Coming soon. 『バックパッカー新聞』 Published By Japan Backpackers Link 発行人 編集長 向井通浩

<http://backpackers-link.com/>

<広告>



MAISON D'HOTE AMANDE CHEZ NORIKO

「モロッコのグランド
キャニオン」と呼ばれ
るトドラ渓谷までのん
びり徒歩30分で行ける
日本人が経営するアッ
トホームな宿。
バルコニーからは一枚
岩が眺められ、手前の
畑にはアーモンドの
木々が見え春にはサ
クラのような花が咲き
花吹雪を楽しむことが
できる。

◆料金◆

宿泊代 70DH
朝食 20DH
夕食 50DH
洗濯機使用料 10DH

◆設備◆

部屋数4室
サロン
大きめのバルコニー
Wi-Fi
シャワー室・トイレ共同

日本食もO・K

家庭的な
小さな宿



◆住所・お問い合わせ◆

住所

Ait Ousalene Tizgui TINGHIR 45800 MARO

電話番号

+212(0)6 7040 4369

+212(0)6 5319 5219

モロッコ国内からは0653195219

E-MAIL

amande@hotmail.co.jp

詳しくはホームページで

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com>



MOROCCO
TODRA GORGE

Instituto Cultural Oaxaca

El día de muertos 2013



メキシコ オアハカスペイン語語学学校

Oaxacaと死者の日

メキシコで毎年11月1日と2日に祝われる死者の日、Día de muertosはキリスト教とメキシコ先史伝統の融合の一例であり、メキシコで最もカラフルで由緒ある祝日の一つとして非常に有名です。死者の日はメキシコ全土で祝われますが、中でもオアハカは先祖の帰還を伝統的かつ華やかに祝うことで有名です。



2013年死者の日コース

当校では2013年、10月21日~11月の1日の2週間死者の日コースを開催致します。

この時期に合わせた特別な文化研修クラスも開講され、生徒様向けにパレードを開催し、死者の日のイベントにご自身も参加して頂ける様になっております。



様々なイベント

当校では死者の日コースの期間中、皆様に多くのことを体験して頂くため様々なイベントを企画しております。

コンパルサ、マスク作り

コンパルサとは死者の日の前夜祭に行われるパレードのことで、皆さん死者の日にちなんだマスクや仮装をしてメスカルを飲みながら街を飲み歩きます。当校でもこのパレードを開催し、生徒の皆様にはこの時期特別の文化研修、マスク作りでご自信オリジナルのマスクを作り、参加して頂けます。



オプションツアー

当校では毎年死者の日に彩られる集落を厳選してオプションツアーを開催しております。毎年在籍するほぼ全ての生徒様からご参加頂ける程の人気で当校の死者の日期間の目玉となっております。



皆様のご来校お待ちしております。お問い合わせは
info.jp@icomexico.com 八木までご連絡下さい。

CONTENTS

- 旅人からの伝言 特集インドネシア
- 個人旅行のコモディティ
- 語学留学検証@南アフリカ共和国 第2回
- 体験する旅・現地調達する語学留学
- 世界一周編
- 旅先の変な日本語
- エッセイ「旅トキドキ・・・」
- HANGOVER in the WORLD「フルーツビールと18日限定ドラフトビール」
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 2周年特別付録「台湾おさんぽ」
- 連載ミャンマーレポート「一人旅卒業後、ミャンマー留学」
- 旅で使えるスマホアプリ
- 自炊派の手料理「バーニャカウダ」
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 作者・情報提供者一覧
- 編集後記
- 次号予告
- 記事募集

旅人からの伝言 インドネシア

Selamat siang!

Photo(C)鈴木モト

インドと名前が似ているインドネシア。だけどバックパッカーの間で情報をインドと比較すると格段に少なく感じるインドネシア。一説によると在住日本人の間でもインドネシアの新しい情報はあまり流通しないらしい。そんなインドネシアをちょっと覗いてみました。



5,110km と東西に非常に長く、また世界最多の島嶼を抱える国である。赤道をまたがる 18,110 もの大小の島により構成されるが、この島の数は人工衛星の画像から判別したものであり、正確な島の数はインドネシア政府すら把握していない。

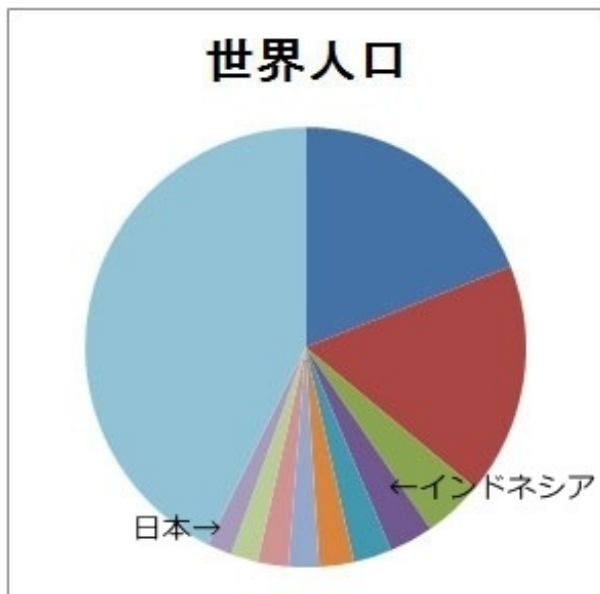
あらまし

インドネシア共和国（インドネシアきょうわこく）、通称インドネシアは、東南アジア南部に位置する共和制国家。首都はジャワ島に位置するジャカルタ。

人口は2億3000万人を超える世界第4位の規模であるが、その大多数はイスラム教徒であり、世界最大のイスラム人口国としても知られる。

人口

229,965,000人（2008年）世界第4位



首都

ジャカルタ

面積

1,919,440km² 世界第15位 アジア第3位

公用語

インドネシア語

通貨

ルピア（IDR）2013年6月24日現在為替レート：100(IDR)=0.9896円 1円=101.05(IDR)

独立

オランダより1945年8月17日宣言1949年12月27日承認

国旗

突然ですが、3つのうちどれがインドネシアの国旗でしょうか？



左はポーランド、中はモナコ、右がインドネシアでした。モナコとの違いはインドネシアは2:3、モナコは4:5と縦横比が異なる。

旅人からの伝言Tips

TwitterなどのSNSでお題を投げかけ、お返事を集めて情報を並べました。気になるTipsをチェックしてくださいね。

美味かった、ビックリした、ご飯、スイーツなど教えてください。

[@i_wish_nepal](#): サンバルですね、いまや、日本でも有名ですが、当時は20本位買いだめして帰国してからも毎日持ち歩いてました。

[@27tsuna](#): 生姜のソフトキャンディーと、Monggoの生姜入りチョコが美味しかったですよ。

[@z_diacgold](#): 焼きバナナはインドネシアで有名ですが、焼きチーズバナナは衝撃でした...これです。撮影地はマカッサルです。左がチーズ、右がココナッツでした。味は思ったよりまずくないかなって感じですよ笑



トラブルなどに遭遇した体験などありましたら教えてください。

[bachiko9552](#): バス会社でドゥマイ行きのバスを予約していました。180ルピア（約1800円弱）。高い！！って言ったら、「エアコン付きのグッドバスだからこれくらいするんだよ～、バスターミナルまでただで連れてくしさあ。」うーん、まあ夜行バスだし1泊分の宿代含まれてると思えばまあいいかと思って予約しました。

で、当日バス会社に行ってみると、チケットを売ったおっさんが「おれちょっと行けなくなったから違うやつに連れてってもらって！気をつけてね！グッドラック！！」・・・そのときはまだ、あーそうなのかあって思っていていざバスターミナルに着いてみるとボロボロのローカルバスが1台。。。わーやられた————！！このときすべてを悟りました。だまされた・・・しかし不思議と怒りはなくただ、あららーすごいなこのバスって思えた自分がすごいな成長したなって思いました。

はずせないスポット、面白いスポット、レアなスポットって？

[@plant_wolf](#): ブロモ山かなあ。全島見て回ったわけじゃ無いけど。ジオラマな一度見たら忘れ難い景色デス



スラウェシ島トラジャ

トンコナンと呼ばれる舟形家屋。



葬式儀礼の様子。お金持ちほどたくさんの水牛を生贄に出します。私が行った所は15匹ほどの水牛が生贄になりました。水牛は棚田で稲作をするトラジャ族にとっては財産になるものです。生贄になった水牛の角はトンコナンに飾られます。

水牛の角が多いほどお金持ちの家と判断できます。

また、故人は洞窟や岩の上に納められます。そして故人の身代わり人形として木製のタウタウ人形が並んでいます。

特別な習慣を見ることができました。



あと農閑期ならでの闘牛。

なかなか迫力がありません。



情報提供：ぐっさん（詳細巻末）

個人旅行のコモディティ

その旅、「誰かの旅」をなぞってるだけじゃないですか？

記事募集中

旅人の数だけ旅があるはずなのにネット上を見ていると、自由なはずなのに、なぜか線路の上をぞろぞろ歩かされてる？みたいな。

「**語学 (英語) 留学**」はフィリピン一辺倒。

「**プログラミング**」上位維持のためのネタ探しの移動。

ネコも杓子も薄い体験でも感動の「**世界一周**」など。

かと言って、批判したりダメ出しする気は毛頭なく、どんどん「**語学留学**」「**プログラミング**」「**世界一周**」してもらいたい。

ここでは良し悪しではなく、実態を覗いてみたり聞いてみたり、別の方法などに触れてみたい。

語学留学検証@南アフリカ共和国 第2回

今回は、南アフリカ共和国への留学を選んだ動機について書きました。

そこで今回は、結果はどうだったのかについて、書きたいと思います。

実際の留学で気になる点は、①英語は伸びるのか。②生活はしやすいのか。（治安・物価・娯楽）これらが、僕なら気になるところです。よって、以上の2点について書いていこうと思います。

①英語は伸びるのか。

まずは、カリキュラムについて書いていきます。ただし、南アフリカ共和国にもビジネスに特化した学校。会話に特化した学校。など何種類もあります。

僕の通った学校は、少しビジネスよりの会話に特化した学校です。その学校のカリキュラムは.....

【個人レッスン】ここでは、「何を伸ばしたいか」を自分で選べます。

たとえば、「英語でプレゼンができるようになりたい」「ビジネスでディスカッションができるようになりたい」「フリー会話がしたい」などです。

【文法】中学レベルの文法を英語のみで習います。

ただし、日本で習うのとは少し違う文法もあるので、勉強になります。まあ.....でも.....ここは日本でも十分勉強できるレベルです。

【スピーキング】発音や、文章を読んだり書いたりなど。

「主に誰かにアウトプットするためのベース」を学びます。会話慣れしていない日本人には非常に勉強になります。

【フリーディスカッション】何か話題を与えられて、ディスカッションを行います。

例えば「台湾は中国の領土か否か」や「黒人差別はまだ南アフリカ共和国に残っているか」など、非常にセンシティブな話題から、「サッカーとフットサルの違いは？」などいろんな議題をもってみんなで適度に意見を交わします。

これも、そもそも議論慣れしていない日本人には非常に勉強になります。あと、いろんな文化の違いがガチで衝突して面白いです。

南アフリカ共和国の授業は大体、遅くても15:00には全カリキュラムを終えます。

そこからが本番です。みんなで遊ぶ時間です。ケープタウンはそこそこ都会で、かつ自然もあるため、何でもできます。クラブに行って踊ることもできますし、登山もできます。

授業が終わったら、よくドイツ人やアンゴラ人らとカフェとかに行っていました。彼らは踊るのも、お酒飲むのも大好きですが、僕が飲めなくても、踊れなくても、ほとんど気にしません。未だにやり取りをしています。また、英語を学びに来ているのだからみんな英語を学ぶ意欲が非常に高いです。遊んでいても、英語の間違いがあればお互い指摘しあっています。

街に出ても、もちろん公用語が英語なので、英語を使うしかありません。ただし、少し南アフリカ訛があるので（学校の先生は大体British Englishです。）そちらが僕にも移ってしまいましたが、今でも会話をする分には困りません。むしろ黒人英語が聞き取れる貴重な人材です。

結局授業では、ディスカッションやら技術の勉強にはなりましたが、やはり遊ぶ環境があつてこそ、会話できるようになりました。みなさん、ぜひ留学に行ったら外に出まくってください。

②生活はしやすいのか。

治安ですが、問題ないとは断言はできないレベルです。ある一定の場所にいる分にはまったく問題ないのですが、そこから出ると正直あぶないです。

「ロングストリート」「ウォーターフロント」「グリーンフロント」この周辺にいるぶんにはすごく安全でした。夜中まで遊んでも特に問題はなかったです。しっかりと安全確認をして、周りの様子を見て動き回ってる分には問題ないです。

ただし、宿は若干高くて、一泊1000円程します。そこも交渉しだいですが、目安はその位だと思ってください。食費はまさにピンギリです。一食100円で済まそうと思えば、済ませられますし、2000円とかでもいけます。安くておいしいところもあるので、何かあれば問い合わせただければ答えます。（ここに書くと長くなるし、留学のことの趣旨とはずれるので。）

また、タウンシップに行くと、安くて、質のいいご飯が食べられます。（初めは必ずツアーなど、信頼できる人と行って下さい。）

娯楽は正直少ないです。クラブや飲み屋は数多くありますが、他は何もないです。ワインツアーや登山、シャークダイビング、スカイダイビングなど自然の遊びには事欠きません。また、ご飯もタイ料理、ベトナム料理、和食など、世界中の料理が食べられます。

以上、やはり以前私がいったカナダに比べると、ビジネス英語はむずかしいですが、英会話を磨くのであれば、生活もしやすく、努力しだいで非常に伸びやすい環境が整っています。

ぜひ検討してみてください！ 何か聞きたいことがあればぜひ僕まで問い合わせてください。

谷川和哉 (Kazuya Tanigawa)

自分の知らない世界に触れたくて、初めてカナダに行ったのが高1。国内外問わずウロウロと。多くの街に行くよりは、一つの街でじっくりと人に触れる旅がしたい。現在は、技術者として腕みがき、翻訳ボランティアをしながら、エネルギー問題の解決方法を考える日々。誰か一緒にやりましょう。100人100旅；第1、3、5弾執筆者。100人100旅を通して東京、名古屋、京都、熊本、函館、イタリアで写真展を開催。個人的にも名古屋の旅人と共に写真展を開催する。

Twitter ; [@ponn_kazuya](https://twitter.com/ponn_kazuya)

体験する旅・現地調達する語学留学



「フィリピンで語学留学！」

旅関係や留学関係のネットサイトをよく見ている人にはお馴染みのフレーズです。日系、韓国系の語学学校が乱立するセブ島辺りでは、年中英語を学びたい日本人がひしめいていると聞きます。

もっと英語を話せるようになりたい、聞けるようになりたいと考えていた自分も、物価が安く英語が国全般で通じるフィリピンでの留学にとっても興味がありましたが、同時にその弊害も耳にしていました。日本を離れてわざわざ外国までいっても、同じ学校や滞在している日本人と仲良くなって結局日本語コミュニティを作ってしまう、語学力に磨きがかからないというものです。語学留学における最大の失敗の要因はこの点ではないかと思えます。

では語学留学で目的通り語学力をブラッシュアップするにはどうしたらよいのでしょうか？

本当に語学を学びたいなら現地の生活で日本語を一切排し、学校だけでなく日常生活でも全て学びたい言語を使うしかない。そういう状況に自分を追い込んでこそ初めて身につくのが語学力というものだろうと考えました。では、わざわざフィリピンまで行って望む環境を手にするにはどうしたらよいのでしょうか？

まず日本で語学学校を申込みのはよそうと考えました。日本で申込みの学校ならば当然他の日本人がいるであろうと想像がつきます。理想はその学校で唯一の日本人学生であること。ネットで現地の語学学校の情報を集めるのみにとどめました。

渡比するにあたって準備したのは往復チケット、数日分の着替え、PC、到着当日のゲストハウスの予約程度です。ゲストハウスは日本人がいなさそうな宿を選ぼうと考えHostelWorldを利用して選択しました。後は渡比してから考えよう。現地調達でいこう。

関空からセブパシフィックでマニラへ向かいます。マニラ到着は深夜だったので朝まで空港で待機。セブパシフィックだとターミナル3に到着しますが、ターミナル3はマニラの空港ターミナルで一番新しく、空調も整っているので空港泊するには適していました。

日が昇ってから宿へ出発。朝から既に暑いです。空港バスとジプニー（フィリピンの乗り合いバス）を乗り継いでマラテのゲストハウスへ。

HostelWorldから選んだゲストハウスは、当然のごとく英語が通じました。6人部屋のドミトリーに泊まっていたのは中国人、カナダ人、マレーシア人二人そして自分。当然ながら全員が英語で会話していました。英語のレベルはマチマチで、英語ネイティブのカナダ人と休暇中のビジネスマンであるマレーシア人は流暢に話しますが、大学生の中国人はチャイニーズイングリッシュ、いわゆる「チングリッシュ」の使い手で、英語初心者の自分からしてもひどいレベルでした。それでもこの中で一番アグレッシブだったのがこの中国人で、たとえ単語単語のイントネーションがひどくても、身振り手振りで一生懸命に伝えます。そして周りもそんな彼に耳を傾け、理解をしているようでした。そんな彼の姿に勇気付けられ、自分も必死に学ぼうと思ったものでした。

「電気消してくれない？」

「この荷物どけてもいい？」

こういった何気ない会話からドミトリーの皆でビール片手に話す四方山話まで、とにかく全て英語。英語から逃げられない環境とはこのことで、そしてこれこそが留学先に求める環境なのではないかと実感しました。

マニラに着いた翌日から学校探しを始めました。日本でいくつか語学学校をピックアップしていましたが、いざマニラに着いて改めて調べてみると宿からのアクセスが不便だったり、既に閉鎖されていたり、次の新規開講がスケジュールと合わなかったりと自分に適した学校が見つかりません。一週間くらい空振りを繰り返した後にたどり着いたのが、マカティの語学学校でした。

その学校は駐在日本人向けの語学学校で、経営者と講師はフィリピン人オンリーですが、生徒は全て日本人とのことでした。初志貫徹するなら避けるべきだったかもしれませんが、ここまで空振り続きでこれ以上無為な時間を過ごしたくなかったため、ここに通うことにしました。

授業は週3回で1回2時間、毎回事前課題を出してもらい様々なテーマについてトークしたり英作文を作るというもの。フィリピンと日本の比較、フィリピンが抱える諸問題、スクールイベントの企画、タガログ語映画を観て（もちろん私はタガログ語は理解できません。）ストーリーを想像して発表するなど。

他の日本人生徒さんとは授業の待ち時間やスクールのイベントなどで仲良くなりはしましたが、基本的には駐在会社員のご家族の方ばかりで自分とは境遇が違いすぎ、留学の趣旨を守る程度に距離を保つことができました。結果的にこの学校を選んで正解でした。

料金は2時間の授業1回800フィリピンペソ（約1600円）、これできちんとした外語大

の英文科を卒業した講師に教えてもらえるのですから大変安いものです。

留学中、単に語学の勉強をしていただけではありません。同じ宿の仲間とマニラの観光地巡りをしたり、観光客が行かないようなスラム街を歩いてみたり、リッチなフィリピン人の集まるショッピングモールでナンパに挑戦してみたり、週末を利用してナイトスポットとして有名なアンヘルズに繰り出したりと様々なことを試しました。

余談ですがこの留学で夜遊びやナンパは語学力の向上に役立つと確信しました。どんな会話をするか、どんなフレーズを使えばかっこよく話せるか、気になる異性の前では誰でも必死になるものです。ナンパなんて……と言わず、これも勉強と言い訳しつつぜひチャレンジしてほしいものです。

3ヶ月と短い期間ではありましたが、英語漬けの日々を過ごし日本に帰国しました。会話力は格段に向上したし、TOEICの点数は200点以上伸ばすことができました。3ヶ月の留学は一定の成果を残すことができました。費用は往復のチケットや学費食費宿代夜遊び代等全てを含めても25万以下に抑えることができました。

海外留学することで人は何かしらのスキル・経験を得ようとするものです。しかし環境や方法を間違えれば思うように得るものを得られません。日本で計画している段階では見えてこない現地の環境や実情というものは必ずあるもので、日本で全て決めてしまわずに、現地でじっくり吟味してから決めてみる。そんな留学を現地調達するという考え方、試してみたいはいかがでしょうか？

船橋証考

銀行を退職後、2010年と2012年に旅をして世界二週を達成。

現在は地元市役所で働きつつ次の旅の機会を模索中。

<https://www.facebook.com/masataka.funahashi>

<https://twitter.com/FunaMasa>

Where the hell is Masa? 世界中でプラトーンしてきた

http://youtu.be/Nl6yA3_khiA

世界一周編

どんな旅をするのも「個人の自由」としておきながら、均一化する個人旅行についてお話しします。

特に「世界一周」。

昨今の世界一周ブームは、ネットの普及により情報が簡単に手に入るようになったというのが一つの理由でしょう。

そのお陰で「旅慣れ」していない方でも「世界一周」できる時代になりました。ある程度決まったルートをとれば「比較的安全に」旅できます。

便利でありがたい時代なんです。時間とお金さえ作ればなんとなく「世界一周」できる世の中なんです。

その一方で「世界一周」での旅の仕方・中身がだいぶ固定されているというのが気になるところです。

例えば「世界一周」は大きく西周り・東周りに分かれ、みなさん大体同じ期間なので、同方向周りの旅人は何度も出会うという話をよく聞きます。

私自身が体験＋見聞きした感じで定番ルートを上げて見ます。当てはまる方、検討している方も多いと思います。

3月or4月出発でアジアスタート。

タイで旅慣れ、メコン河周辺国々で再会。もっぱら最近の人気はミャンマー。パガンの仏塔に感動。

インドのガンジス河で泳ぎ、コルカタなどでボランティア？

中東に移りまして、ヨルダンの日本人宿マンスールで同乗者を募りイスラエルへ。終始話題はイスラエルの入国スタンプ情報。

その後エジプトのダハブでダイビング&沈没。

シリアの情勢が良くなれば、イスタンブール⇔カイロまでの中東陸路長旅コースは再会ラッシュ。

そして、8月のトマト祭りにあわせて、スペインへ。

サハラ砂漠目的のモロッコでは小さな村に大量の日本人が。

もしくは東アフリカ縦断。エジプトから南アフリカまで旅人が通るルートはほぼ限定。治安病気を気にするためか情報収集が命。必然的に集まる場所も限られます。

そして旅も終盤。夏に合わせて憧れの南米。

イースター島で再会。

パタゴニアで再会。

パラグアイの日本人居住区で再会。

ブエノスの日本人宿（上野山荘、日本旅館）で再会。

一番顕著なのは、雨季のウユニ塩湖でしょう。鏡張りの絶景を見ようと、人口1万人の町は日本人で溢れています。事実上の首都ラパスでは、これからウユニへ行く人・行ってきた人でお祭り騒ぎです。ここ数年の「ウユニブーム」はどこから来るのでしょうか。

南米を旅する人はほぼマチュピチュに行くでしょう。でも観光列車は値段が高いから、宿で集まった日本人同士で「歩いて」向かいます。

ざっくりとこんなところでしょうか。

一昔前はガイドブックに載っていなかった観光地も「旅ブログ」が普及しているため、多くの旅行者に知れ渡っています。

最近の人気は、エチオピアのダナキル砂漠。パタゴニアのマーブルカテドラル。治安が回復しつつあるコロンビア、でしょうか。

さっと頭に上がるものを書き出してみました、どうでしょう？

私は「定番」が悪いとはいいません。

魅力的ですし、一度は見てみたい！ という場所が多々です。が、せっかく「世界一周」しているのにどうしてこうも画一的なのだろうか？ と疑問に思うのです。

アフリカを旅しているときにある旅人に言われました。

「大谷さん、〇という旅ブログ知っていますか？ このブログ通りに旅すれば成功しますよ」

衝撃的でした。

私も旅ブログを参考にするときはありますが、まさか「旅ブログに沿って」旅する人がいるとは。そして「成功」ってなんでしょう？

また、ある長期旅人に言われました。「俺は、ガイドブックオススメ定番コースを一通り周ればそれでいいんですよ。見たいものだけ見ればいいんですよ」

こんな感じです。

私が思うに、多くの日本人（私を含む）の「世界一周」は、GWやお盆の弾丸短期海外旅行の連続なんです。

1都市に1、2泊してすぐ次に移る。そのため、1年に50ヶ国とか60ヶ国とか「入国」できてしまうんです。

これは、欧米との休暇体制の違いが原因だったり、国民性が原因だったりしますよね。

日本社会で過ごしたら、まとまった休みは取れない⇒せっかくの「世界一周」だからあちこち行ってやろう。憧れの観光地を全制覇しよう。⇒なるべくロスタイムしたくないので旅ブログ等を参考にして定番を周ろう、でしょうか。

かく言う私も、上記の考えの下「世界一周」しました。

それが後悔に繋がっています。「現地文化を堪能する旅ができたのではないか」「観光地以外にも周ることができたのではないか」「ビジネス目線で街を回ることもできましたよね」等々です。

人の旅をブツクサ文句は言いませんが、大多数の方がおそらく「人生で最初で最後の」長旅かと思われます。帰国後「もっとノンビリ旅すればよかった」「移動移動ではなくて現地に溶け込んだ旅もしたかった」などと悔いを残さないで欲しいんです。

短期では味わえない「長旅ならではの」旅情を味わって欲しいな、と思うのです。

最後に、色々モノを言いましたが、自戒も込めています。

もう少し腰を落ち着け旅をしようと、2013年7月より最後(?)の長期バックパッカー旅に出かけます。

ありがとうございました。

大人気 格安フィリピン英語留学!

成功の秘訣は事前のトラブル回避術にあった!

(バックパッカー新聞 出版部)



【書籍案内】

安いっ! マンツーマン授業が格安だと人気のフィリピン英語留学! しかし、、、フィリピン英語

留学で想定されるあらゆるトラブルに見舞われた大谷浩則が赤裸々に暴露！「もう、語らずには
いられないんです！」 さすがフィリピンだぜ。マニラとセブ島どちらがいいの？フィリピン英
語留学の真実、フィリピン英語留学先の韓国人。フィリピン英語留学を「楽しい」で終わらせたく
ない！これがくせ者、「フリートーク」の魔術！って何だ？ 実は「スモークマウンテン」
なんて誰も関心がないんだよ！フィリピンの「アイラブユー」は、「I Rob You」。 最大のメリ
ット「マンツーマン授業」は運次第！？フィリピン英語留学 お問い合わせの多かった8つの質問
に答えます。フィリピン英語留学の総費用内訳。他

【付録】女子にも人気のセブ島英語留学の注意点。 リスクとカラクリを知って、有意義なフィ
リピン英語留学を！大谷浩則 週刊『バックパッカー新聞』からスピンアウト、赤裸々すぎると
話題になったフィリピン英語留学編が本になりました。

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。
旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ~実況！旅人アワー~

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheelie](https://twitter.com/taniwheelie)

日本語



旅先の

海外でみかける変な日本語。看板やメニューをはじめ、商品名やTシャツ、チラシに至るまで。笑わせてくれたり、困惑させられたり。そんな変な日本語をTwitterなどで募集してみました。



「イルカの骨豚ラーメン」って、シーシェパードが知ったら即日店を潰されてしまいますね。どうしてイルカになったんでしょうか？

変



よくある「ツ」と「シ」の間違いですね。「ン」と「ソ」もよくありますが。でもこれ間違っていないのかもしれない。「マッサージ！」ってもしかして複数形でマッサージ師達のグループかもしれないのだ。

変



おいしい！実に惜しい。「足えにご注意下さい」ってどうして「え」になったんでしょう？
解析するに「え」って「元」っていう字を崩した感じじゃないですか？足元って書きたかったんですよね。



鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84 (100M)

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

すげー！ こんな所でよく寝れるね!!

インドは、

日本とはまるで違う国民性だと思います。

恥ずかしい気持ちとか、他人の目を気にする気持ちとか、

そういった感情が欠如していると思います。

そして、

「ナマステ～」と「マネー！」が
インドで最も言われた言葉でした。

何かとお金を請求されて、とても疲れまして.....。

インド人不信という言葉が
たまに聞かれるけど

凄くわかる気がするな～。

個人的な意見だけど、

インドは、ダラムシャラーから北に進むにつれ
人が少しづつ優しくなり、

南はハイドラバードあたりから南に行くにしたがって

人が優しくなった様感じた。

そんなインド人達のかわいい寝姿を。



横断歩道にて。

信号が青になったら起きると思いましたが
その考えは甘かったです。



サイクルリキシャーの運転手。

犬も眠いんだね。



駅のホーム！！



荷物運びの人。

後ろに写ってる人達が写真を撮れ撮れうるさかった。笑



駅へは、誰でも入れる。

無料で堂々と昼寝が出来るね!!



こんなにくっついて寝て、仲がいい3人なんだね。



日本も電車の待ち時間、横になれたら楽だろうなって思ってしまいました。



気持ちよさそう!!



列車は毎回の様に遅れます。でもたまに時間通り出発します。
乗り遅れそうになるから時間通りに出発しないで～。



靴磨き。よく見ると.....



後ろに寝てる人いた～!! 器用な寝方。きっと器用な人でしょう。
目を開けてる所をみると、きっとこれから眠りにつくのでしょうか。お休み。



老人。死んでるのか？ と一瞬思ったけど、30分後この道を通ったら、寝返りを打ってて安心した。



雨上がりの道。これはマジで死んでると思った!! でも息してた。
この人も寝返り打ってて安心したよ。ちゃんと生きてるって。

以上。SLEEPINGでした。

どんな所でも寝てしまうインド人の度胸が

少し欲しいと思いました。

HANGOVER in the WORLD 「フルーツビールと18日限定ドラフトビール」

フルーツビールと18日限定ドラフトビール

台湾でビール好きなら必ずお世話になるのが台湾ビール。通常はクラシックと金牌なのだが、今回はフルーツビールと18日限定ドラフトビールを飲んでみた。

<フルーツビール>

ぶどう味やライチ味もあったのだが、今回はパイナップル味、オレンジ味、マンゴー味の3種を試飲してみた。



甘いビールってことだろうなあと思って飲むと、意外にも甘過ぎない。

ビールがしっかり利いてるといってもいい。

あまり甘くないジュースという感じになるかもしれない。

けれどもトロピカル感は十分に味わえる。

果汁は5%ながら味はしっかりしていて、アルコールも2.8%ととてもやさしい。

お酒やビールが苦手な人にも試してもらいたいビール。

<http://www.tbfruitbeer.com.tw/age.html>

台湾で飲んだ間違いなく一番旨いビール！

<18日限定ドラフトビール>

出荷から18日以内しか市場に出回らないという鮮度命のビール。

もともと知ってたわけではないのだが、台南のゲストハウスに普通の台湾ビールを買って帰り、いざ飲もうとするとスタッフの人に一言言われた。

「あ〜、ダメだね。そのビールじゃ。このビールが旨い！」

とって見せられたのがOnly18Daysという台湾ビール。

後で調べたのだが、どうやら当初店舗売りをせず飲食店用で、南台湾でしか売られてなかったらしい。

そんなプレミアム感たっぷりのビールを宿のスタッフのお姉さんは「はいっ！」と一本分け与えてくれたのだ。

軽い台湾ビールが更に軽く、でもしっかりした味わいで、調子に乗ってもう一本飲みたいといった感じでした。

<http://www.twbeer.com.tw/sp/open18draft/>



ゲストハウス

dorm1828

<http://www.dorm1828.com/>

インドというイジゲン その2



儀：前回に引き続き、インドです。

功：インドなんて自転車で走るもんじゃない、というのは既にお話ししたと思いますが……。

儀：ええ、リクシャとオートリクシャとバイクと車と人と牛と犬とヤギとウンコで交通事情はカオスですからね。

功：毎日が命がけのアトラクションでしたね。

儀：今回もそんなインドのカオスっぷりを紹介していこうかと思います。

功：さて、自転車でインドを走る上で試練となりうるのは、交通事情だけではありません。

儀：そうですね。それを言い始めると試練ばかりが思い浮かんできりがないのですが(笑)

功：交通事情もちろんですが、次に「ヤバい、これは殺られる」と思ったのは……。

儀：空気の汚さ、でしょうか。

功：確かに、これは自転車乗りにとっては特に致命的な問題でした。

儀：毎日自転車こぎながら一日中ガバガバ空気吸いますからね。

功：そうです、呼吸しなきゃチャリはこげません。そんな大切な空気がそれはもうインドではエライことになってました。

儀：汚っていても、汚さのレベルが違うんです。

功：晴れの日でも基本的に真っ青な青空を見ることはできないのです。

儀：いつも空が白く濁っていて、もやもやのガスの向こうに太陽が見えてる感じでした。

功：数百メートル先ですら、もやがかかって見えないぐらいですから、いかに空気が濁ってるかが一目瞭然でわかります。

儀：排気ガスとかゴミとかレンガ燃やした煙とか土ぼこりがぐっちゃぐちゃに混ざり合って、一日中自転車こいでいる僕たちの肺に襲いかかってくるのです。

功：なので、自転車をこぐときはいつもこんな格好でした。



儀：サングラスとマスク。マスクは工業用のマスクです。

功：こんな格好してるにもかかわらず、一日走り終わると口の中と鼻の中は真っ黒。

儀：歯にほこりがこびりつき、まゆげやまつげもほこりで真っ白。

功：毎日それを見るたびに、一刻も早くこの国を出なきゃ死ぬ、と感じていました(笑)。

儀：イメージ的には某アニメ映画ナ○シカに出てくる瘴気で満たされた腐海の中を自転車で走るという感じでしょうか。

功：まさに、瘴気が毎日僕らに襲いかかってきてました。ほんとにたまったもんじゃありませんね。

儀：自転車といえば、自転車をこぐ体力や精神力そのものも大切ですが、それを支えるのはなんといっても食事と睡眠。

功：そのとおり。この二つがなきゃ体は動きませんから。

儀：インドの食事といえば、みなさんお察しの通り、こちらです。



功：おいしそうですね。

儀：おいそです。

功：カレーですね。

儀：そうですね、カレーです。

功：まあ、カレーですよ、インドは。どこ行ってもカレー。



儀：おいしくないわけではないのですが、食う物がカレーしか無いんです。

功：正確にはカレー味の食べ物ですかね。なににでもガラムマサラ入れちゃうんだからあの人たち。

儀：レストラン行くとメニューがそりゃもう豊富に揃っていて、ずらっと並んでいるんですが、どれ頼んでもカレー。

功：僕らはほとんど田舎を走ってたので、巡り会うのは地元の大衆食堂みたいなところ。カレーぐらいしか食べる物はありません。インド人はほんとにカレーしか食べてないんですね。

儀：一週間もしたらカレー恐怖症になって二人とも食が細くなりました(笑)。

儀：観光地に行けばカレー以外の洋食や怪しげな日本食をお目にかかることもできますけど。

功：そういえば怪しげな日本食レストランで「オムライス」頼んだら、インド人シェフが自信满满でスープでひたひたのご飯を出してきたことがありましたっけ。

儀：ああ(笑)これはオムライスじゃないよって教えてあげたら、しばらくして再度作り直した「オムライス」を持ってきたんですが.....。

功：またスープでひたひたになってましたね。

儀：こんなインドなので、インドにいた時ほど日本の知り合いから饞別にもらったインスタントみそ汁やらふりかけやらを重宝した事はありません。

功：それだけがインドのカレー地獄から逃れるすべでした。

儀：でも、そんなこと言っても食えるだけありがたいですよ。贅沢言わずに食えるものを食う。15円でカレーが食えるぐらいなんだから。

功：それは、まあそうなんです、そうも言ってもらえないのがインド。「食える」というレベルがどこまでなのかと。

儀：それはつまり.....。

功：店が汚いんですよ。鍋とかまな板とか開業以来洗ってないんじゃないのかっていう汚さでしたよ。

儀：そういうところもありましたねえ(笑)。厨房は見ちゃいけませんね(笑)。

功：お皿なんかゴミの中から拾い出して、何回も使い回した汚い水で、チャプチャプっと軽くすすいでそこに盛りつけちゃってましたからね。そもそも使ってる食材が腐ってる場合もありますし。

儀：でもだんだんと「食える」ことの許容範囲が広がってきたのも事実です。

功：インドに入国した直後に、「なんじゃこのゴミ溜めみたいなレストランは！」ってドン引きしていたような危険レベルマックスのレストランで、最終的には普通に食事をするようになって

いましたね。

儀：今じゃ考えられないことです。人間の順応力というものも捨てたものじゃないですね。僕らのお腹もインド人のようにたくましくなっていたのでしょうか。

功：だいぶ食事の話が膨らんでしまいましたが、睡眠も自転車旅では欠かせない大事な要素です。

儀：こんなカオスの王国で果たしてどのように寝ていたのか。

功：まず野宿はありえないですね。

儀：ええ、野宿なんてしていたら盗賊に襲われるとか、オートリクシャが突っ込んでくるとか、トラックが突っ込んでくるとか、野犬に囲まれるとか、水牛にド突かれるとか、危険因子を考えるとときりがありません。

功：インドという国はなんでも起こり得ますからね。

儀：ほとんどは安い宿に泊まっていた。

功：屋内にいないと不安で夜が越せません。

儀：大抵はものすごく安い宿なので、とにかく汚い。

功：シーツなんかボロボロで汚いし。

儀：そしてそのシーツをめくると異次元空間の扉が開かれるのです。

功：目を凝らすとマットレスの上に小さな生命体は何やらうごめいている……。

儀：……異次元空間の扉は極力開かないことにしましょう。

功：仮にぐっすり眠れていたとしても、夜中にネズミに足をかじられまくったりしたこともありましたね。巨大ゴキブリなんかも常連客でした。

儀：さて、どうでしょうかみなさん、前回から引き続きインドを紹介してまいりましたが、インドの素晴らしさが伝わったでしょうか？

功：インドなんて何が良いんだ！ とお思いの方々、インドの魅力が分かっていないようですね。

儀：まだまだ続くインド編。インド編が終わる頃にはみんなインドのとりこになっているはず!?

Connection of the Children

<http://coccococ.web.fc2.com>

田澤儀高

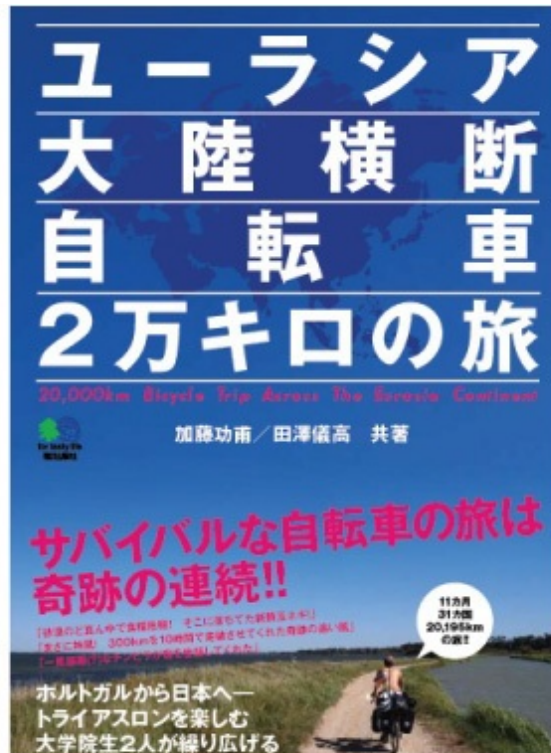
横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンスト

ライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

加藤功甫 田澤儀高 共著



十一月、31カ国、20000
kmのユーラシア大陸横断の旅
は奇跡の連続。
その中で実施してきた世界の
子どもを繋げるプロジェクト。
1本の糸で世界の子どもを繋
いだ結果は…



小説Braviに連載中の彼らが成し遂げた長い道のり。ぜひご覧ください。

おさんぽ 台湾

創刊2周年
記念付録




日本に最も心の距離が近い島、台湾。創刊2周年を記念して編集長自ら台湾にブラリとおさんぽ。あまり目立たないスポットや体験をご紹介します。Brali流台湾の歩き方をご覧ください。

 外国人観光客向け FreeWiFi サービス iTaiwan レポート

 B級スポット！台湾の自獄寺 金剛寺 拝観

 体験コーナー ライチ狩り体験

 台湾 Dash! 台湾周遊（台南・高雄・花蓮）



外国人観光客向け FreeWiFi サービス iTaiwan レポート

2013年5月25日、台湾を訪れる外国人観光客に向け、行政機関（台湾各地の観光スポットや公共交通機関、学校や役所など全国約4,400カ所の公共施設）の公衆無線LANサービス「iTaiwan」（愛台湾）を無料開放し、アカウントの申請サービスの提供を開始したとのこと。

で、試してみた！



① 空港イミグレを抜けると交通部観光局のブースがあります。



② こんな紙が配られるので3箇所記入して提出。係員がPCに入力。



③ スマホのWiFi設定画面のiTaiwanをクリック。



④のように入力して登録をタップしたら⑤の通り完了。行列ができてなければ10分もあればアクセスできます。台湾駅ではパスポートを提出しPCにに登録してもらう方法でした。

使ってみた！

結論から言うと、無いよりはマシ。4400箇所と言っても偏ってるので見つかりにくかったり、アクセスが集中するのなかなか繋がらなかったり遅かったり。駅構内などではまずまず繋がったが、市街地などでは殆どアクセスできず。また、「iTaiwan」ではなく「iTaiwan」とiの間に半角スペースが空いた怪しいアクセススポットも出現するので注意が必要です。



B級スポット！

台湾の自獄寺 金剛寺 拝観

台湾にもタイの自獄寺 WatPhaiRongWua (ワットパイロンウア) を彷彿とさせる恐怖の自獄寺が存在するという情報を得た。編集長自らその噂の自獄寺に足を踏み入れた命がけのレポートである。



台北から MRT で淡水。そこからバスで 45 分ほど。不吉な予感をさせる雨が。



台湾の最北端石門区に到着。バス停には人影はなく車の通りもまばらだ。



運命の分かれ道か？看板に従い海に背を向け延々あるくこと 5 分。



ついにその異様な姿をあらわにしたのだった。その姿は入るもの拒んでいるかのように無言の姿なのである。



門をくぐって中に入ると、シカの角が生えた男に「冗談はよせ！」とか言ってるような言っていないような銅像や・・・。



乳を欲しがると赤ん坊をよそに乳をせがみ乳首に喰い付いて離れないおっさんの銅像などで気を引き阻止しているようだ！
そしてさらに・・・！



B級スポット！



台湾の自獄寺 金剛寺 拝観



なんと待ち受けていたのは、頭にラビットちゃんを載せている者。



はたまた目がガチョン（←古いっ）と飛び出し手になっている者などが・・・。



揃って変な格好をして先に進む気を失せさせようと必死に整列しているのだ！



行く手を阻む異様な敵から逃げ続け、ようやく地獄の入り口にたどり着いた。そこには今までのズッコケぶりを超越したヘンテコな奴らが両脇を固め、中央にはあのえんま大王様が鎮座しているのだった！しかし、ここで引き返すわけにはいかない・・・。そーっと見つからないように地獄の中に入って行くのだった。そこで見たものとは一体！いまアナタも歴史の証人となる時が来る！



B級スポット！



台湾の自獄寺 金剛寺 拝観



アクセス：淡水から 862 か 863 のバスに乗り新十八王公で下車。

注意！まじめに参拝されている方がいますので、迷惑にならないように楽しんで下さい。

体験コーナー

✈️ ライチ狩り体験

編集長は生のライチが大好き！夏場に台湾に来ると必ず大量の生ライチを摂取する。6月上旬、台湾入りするが台北のフルーツ屋や屋台にもライチの姿が見えない。「仕方ない、それならこっちから採りに行ってやるさ！」とライチ狩りをする。後で調べてわかったことだが、台湾人でもあまりライチ狩りはしないらしい。

で、高雄までやってきた！



ライチ果樹園の看板は幹線道路にこれだけなので見つけるのは大変。



念願の生ライチを目の前に終始ご満悦。採りながら食べる。贅沢。



2キログラムの収穫。バナナはオマケでもらいました。



高雄市大樹区の義大世界 (E-DA World) から徒歩 10 分くらいがライチ果樹園「健康站」の入り口。ライチ狩りをさせてくれるのは農園主の張さん夫妻。とても暖かい新設な夫婦だ。夏場は暑いので 10:30 前、午後は 15:30 以降がいいらしい。17:00 まで。

体験するから
なおさら旨いのさ！



台湾 Dash!

台湾周遊 (台南・高雄・花蓮)

温暖で、治安も良く、観光スポットも多く交通の便も良い台北。そんな全てを兼ね備えた台北を離れて台湾の地方都市を駆け足で周って、台湾の多様性と将来を予感させる一片を覗いてきた。旧来の文化を生かしつつも、確実に若い世代が動き始めているのを感じました。



で、行ってみた!

台南

台北から新幹線で2時間弱で到着。旧跡が多く大学があって学生が多く、まるで京都みたいな台南。大学が近いストリートには学生さん達が握り寿司の屋台に列ができてました。



台南にしかないと勧められた魚を練り込んだ麺のスープ。アッサリ優しい味。



やっぱりトロピカルフルーツの本場に来たら食べなきゃ。ミックスフルーツかき氷。



宿は小洒落たゲストハウス。女性が管理されているせいか、とてもキレイ。夜は中庭でビール。

台湾 Dash! 台湾周遊 (台南・高雄・花蓮)

高雄

台湾で台北に次ぐ都市高雄。横浜神戸を凌ぐ世界有数の高雄港はもちろん台湾トップ。中国本土人に対し台湾民族意識が高い。海が近いだけあって海鮮が抱負。



夜市も海鮮がメイン！屋台にいけずあるところも！



やはり高雄に来たら海鮮料理でしょ。



最初の1時間無料のレンタルサイクルにチカラを入れる先進ぶりも。

花蓮

以前から気になってた東台湾。街を歩いた感想はコンパクトながら何でもある感じ。特に目を引いたのはオシャレなナチュラル系ショップやアートスペースなど。次世代の息吹を感じます。



小籠包より旨かった蒸し餃子はたったの30元。



花蓮だけのかき氷。茶色はカラメルで白いは練乳。中には豆腐や豆類や仙草など具たくさん。



泊まったゲストハウスは若い経営者なのかキレイだしデザインもなかなか。

紹介も駆け足だったなー！詳しくはウェブで！



yukkichalk

ビール+鯖+笑い=Happyな東京人。

教師→バリスタ→看板描き→OL後、毎年訪問でハマりすぎたミャンマーに留学中。

<http://blog.goo.ne.jp/yukkichalk>

サクラツアー

早いものでヤンゴンに住んで半年。6月からはヤンゴン外国語大学の後期授業もはじまりました。久しぶりに会う他国の友達と以前よりも仲良くなっている気がします。

留学っていいですね♪ 仕事だけではやっぱりストレスたまりますから。

ミャンマーでのストレス解消方法。日本のように色々なチョイスができません。

本当にNOエンターテインメント!! 韓国カラオケ（日本の歌も少しあり）もありますが、友達と美味しいもの食べて飲んで、しゃべってストレス解消をしています。

そんな中、クラスメートと『サクラツアー』というものを開催。ヤンゴンには『サクラ』とつく場所や物がけっこうあるんです。雨季真っ最中のヤンゴンで、サクラを満開にしようじゃないかというこのツアー。

まずは、私の勤務地でもある『サクラタワー』に集合。日本のビジネスマンで賑わっています。ヤンゴンの中心地で、HITACHIが目印ですね。



その後『サクラタワー』15階にある『Sakura Myanmar Business Center』を訪問。先日のワールドカップ最終予選のオーストラリア戦も、ココで見させていただきました。そのお礼も兼ねて訪問。受付の女の子が本当にかわいいです!! 英語が上手なので、ミャンマー語が苦手な方も大丈夫ですよ。



その後、トレーダーズホテルの裏側にある『SAKURA日本語学校』を訪問。ここはミャンマー語のレッスンもやっています。とてもわかりやすいレッスンで、先生も美人で楽しく、私も大好きな学校です。



13:00を過ぎ、空腹限界のため先を急ぎます。すぐ近くの『Sakura Yokoso Co., Ltd.』へ。時間短縮のため訪問はしませんでした。何をやってる企業かは謎。

ランチのため、タクシーで『日本食屋・桜』に移動。日本人にも評判のいいお店です。私も念願の初・桜!

暖簾をくぐると、そこは日本。落ち着く定食屋さん、といった感じでしょうか。もちろん味も抜群!!



ゆっくり食事をしたいところですが、次があるので先を急ぎます。

ヤンゴン中央駅より『サクラトレイン』に乗車。ヤンゴン環状線を英語でCircular Trainと呼ぶらしいです。それが、ミャンマーイングリッシュでは『サクラトレイン』と言うそう。クラスメート情報で信じてみませんでしたが、駅で『サクラトレイン』と言うとみんなわかってくれます（笑）。

この『サクラトレイン』がメインのこのツアー。事前に時刻表を調べてくれていたので、その時間に間に合うようにツアーを組んでいました。ヤンゴン中央駅に着いたときには既に出発時間を過ぎていましたが、そこはミャンマー！ 電車も遅れていて大丈夫でした。



電車は約3時間かけてヤンゴン中央駅に戻ってきます。ヤンゴンの田舎の景色もいいですよ！ 線路沿いのマーケットなど地元の生活も見れますし、電車で寝れます（笑）。最高の暇つぶしじゃないでしょうか。



18:00頃ヤンゴン中央駅に戻り、タクシーでディナー会場に移動。高級住宅『サクラレジデンス』に併設されているカフェ・ティリピサヤ。



初めて行きましたが、かなりお勧めです。みんなハンバーガーをオーダーし、その美味しさに大満足。バンズが絶妙です。6,000チャット（約600円）でお店の雰囲気も良いので、今後もハンバーガーはここがいいですね。

ディナーだけでは終了できず、『サクラ』とつくBARを探しましたが残念ながら見つからず。事前に『サクラ』とつくオリジナルカクテルを友達に依頼していました。

22:00前に日本大使館近くにある【Latin Restaurant Salud!】に到着。ここで出てきたのがこの日限定の『サクラカクテル』。



見た目もかわいく、やさしい味でした。チェリーリキュールが入ってないのに絶妙のサクラ色。これで、無事サクラツアーも終了かと思いきや、Salud!店長が用意してくれていたのが、『夜桜』。



カルーアがいいですね!! ショットグラスで一気に飲み干します。
そこからの『葉桜』。



ミント風味でお口スッキリです。Salud!店長マイコちゃんにはやられました。昼から酔っ払いながらこの3種類のカクテルを開発してくれたのです。本当にありがとうございます！

各『サクラ』会場で写真をとりました。現地の方たちとふれあいながら、どの写真もメンバー3人良い顔しています。エンターテインメントがないことに不満を漏らすなら、作っちゃえばいい!! そう思いました。

この『サクラツアー』まだまだ続けていきたいと思っています。ヤンゴンにとどまらずミャンマー内の『サクラ』を追い求めて旅立ちたいです。みなさんも、ヤンゴンにお越しの際はぜひ旅行会社では味わえないサクラツアーをどうぞっ！

旅で使えるスマホアプリ

文字通り旅で使えるスマートフォンのアプリの紹介です。昨今ではスマートフォンやタブレットがバックパッカーの間でも普及し、旅の途中も離せない人が増加中。旅を助けてくれる、旅をもっと面白くしてくれるアプリを紹介していきます。

Flightrader24



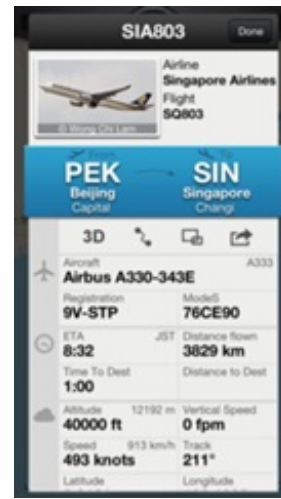
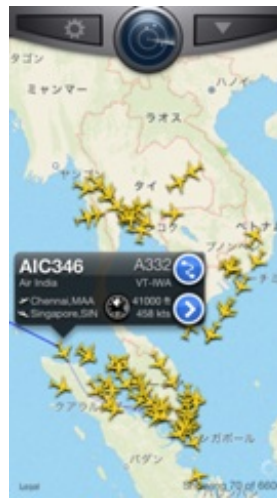
子供の頃、空を眺めると飛行機が飛んでいて、「あの飛行機はどこに行くのだろう」と思った経験をした事がある人は多いと思います。しかしながら、調べる方法もなく興味が無くなり、そのうち空飛ぶ飛行機を見ても何も考えなくなってしまっている大人の自分がいます。

また、空港にて飛び交う飛行機を見て、「あの飛行機はどこから来たのだろう」「どこへ行くのだろう」と考えるものの、航空会社から想像するしかないのが現状です。

そんなときに活用したいのアプリが、「Flightrader24」です。

一言で言うと、世界中で飛行中の飛行機の実時情報をリアルタイムで地図上で表示するアプリです。飛行機の空中衝突を予防するためのADS-Bという信号を受信して、その情報を元に地図上に画像を表示しているようです。

これがあれば、目の前の飛行機がどこから来てどこに向かっているのかを瞬時に知ることができます。また、世界中で飛行機がどこにいるかを把握することができます。



このアプリのFree(無料版)では、地図上の飛行機の航空会社と便名を表示することができます。これだけでも楽しめますが、Pro(有料版)では以下のような機能も利用できます。

- ・フライト情報の閲覧(出発地と目的地とその航路、スピード、高度、上昇・降下率、到着予定時刻、飛行機の情報(写真、型番など))
- ・検索機能(便名、航空会社)
- ・表示フィルタ(航空会社、スピード、高度、飛行機のモデル)
- ・AR(拡張現実)機能

どの機能も素晴らしいですが、AR(拡張現実)機能は特に素晴らしいです。ぜひ自分の目でご確認ください。

さて、このアプリですが、iOS,androidの両方で提供されています。ユーザレビューの評価も非常に高く評価されています。詳細については、以下のサイトからご覧ください。

■iTunes (iOS)

Flightradar24 Pro (有料版)

<https://itunes.apple.com/jp/app/flightradar24-pro/id382069612>

FlightRadar24 Free (無料版)

<https://itunes.apple.com/jp/app/flightradar24-free/id382233851>

■Google Play (android)

Flightradar24 Pro (有料版)

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.flightradar24pro>

Flightradar24 Free (無料版)

<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.flightradar24free>

■Webサイト

Flightradar24のWebサイトもあります。AR機能以外の有料アプリの機能を無料で楽しむことができますので、有料版を購入する前にも見ても良いかと思えます。

<http://www.flightradar24.com/>

ワールドハッカー

元バックパッカー、現在は職業ハッカーをしています。

ブログ『World Hacks!』にて海外旅行関連の情報を毎日発信しています。

<http://bit.ly/WorldHacks>

Brali Vol.1からVol.13まで13連続記事掲載・写真提供。

自炊派の手料理

自炊派の手料理

旅に出たら現地の料理を食すに限る。でも物価の高い街での長めの滞在となると、さすがに外食ばかりはフトコロに堪える。そんな時は自炊。簡単で安くて美味しい自炊派の手料理をご紹介します。

『バーニャカウダ』4人分

旅先で買える野菜を使って、酒のつまみにもサイドメニューにも最適。野菜もたっぷりいただきます。

材料

- アンチョビ……………1缶
- ニンニク……………10片
- オリーブオイル…100cc
- 牛乳……………80cc
- 塩コショウ……………少々

- 大根……………適量
- パプリカ……………適量
- オクラ……………適量
- キュウリ……………適量

(野菜はお好きなものを使って下さい)



作り方

- ①小さい鍋に牛乳とニンニクを入れます。ニンニクが柔らかくなるまで、弱火で煮込みます。
- ②柔らかくなったニンニクを取り出し、包丁の背を使って細かくしておきます。アンチョビも同

様細かくしておきます。

③牛乳を入れている鍋にオリーブオイル、ニンニク、アンチョビを入れ数分弱火で煮込めばソースは出来上がり。

④最後に野菜を食べやすい大きさにカットしたら完成です。



このソースがあれば、パスタや炒め物にも使えるので、とても便利ですよ!!

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

日本人が作る本格魚介豚骨ラーメンが
香港 荃湾に登場！！！！

らーめん 台風。



本誌にレシピ掲載中の元バックパッカー料理人"谷津達観"が半年間準備を続けてきたラーメン店、いよいよ香港にオープン。まだ本格日本ラーメン店の無い下町 荃湾で、香港ラーメンブームの新たな台風の目となる！



*店長『谷津達観』に『私は旅人です』と言ったら特製叉焼サービス！！

<http://www.ramen-taifu.com>
<http://www.facebook.com/ramentaifu>
香港 荃湾 大河道81號寶成樓 地下7号舖
+852 2419 7717



沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

へたくソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

フィリピン・ディナー

ドンッ！

音を立てながら「これでもか！」というくらいの山盛りライスがテーブルの上に置かれる。

国民の90%近くがクリスチャンであるフィリピンでは、食事の前に必ず全員でお祈りをする。僕も見よう見まねで口の中でモゴモゴとお祈りらしきものを捧げる。

祈りを終え、ラミレスが口を開く。

「さあ、飯だ！ ブルースもみんなもたくさん食べよ！」

フィリピン・セブ島。

僕はひよんなきっかけから、セブ島にあるリロアンという町で居候をしていた。家長であるラミレスは、よく日焼けした赤ら顔の上に笑顔を絶やさぬ陽気な親父だ。

ラミレスには子供が6人いて、更に親戚、イトコ、何だか判らない子供たち、近所のおっさん、おばさん、友人.....を含めると毎晩総勢20人ほどで食卓を囲んでいた。

食事になると子供たちは、さながら争奪戦のようにライスを奪い合う。ラミレスやラミレスの奥さんが一応注意をするものの、何の効果もないようだ。

メニューは山盛りライスに唐揚げ一個、もしくはシシャモくらいの本当に小さな魚一匹というのがディナーの定番だった。

腹は相当ふくれるのだが、おかずの味というのはほとんど記憶にない。

まるで貧乏学生の食事のようだが、フィリピンの家庭ではこれが一般的らしい。疑問に思ったのは何故か食卓には野菜類が全く上がらなく、後日聞いたところによると「野菜は貧乏人の食うもの」という考えがあり、プライドの高いフィリピン人はたとえ本当に貧乏でも野菜は食わないそうだ。

野菜の代わりにビタミン剤を飲むのが基本だとか……それは合理的なのか、どうなのか？

騒がしくもあたたかい風景、かつては日本でもこんな風景が日常だったんだろうな。

ふと日本の家族を思い出す。

ろくに定職にも就かず、結婚もせず旅に出てばかりいる僕。いつフラッと帰っても文句ひとつ言わず、あたたかく迎えてくれる両親、兄弟。

思わず涙がこぼれる。

僕は気づかれないう、そっと指先で涙をぬぐいながらライスを口に入れた。

ヨガの聖地でヨガを拒否《インド・リシケシ編》

ヨガ。

「ヨガ・ファイヤー」と火を吐き手足を自在に伸び縮みさせる、あのガリガリインド人を想像する人間は、今日では（ちびろっくを含める）ごく少数であろう。

健康志向のセレブが目をつけ、セレブでない一般人にも浸透し、今では小学生の習字教室並に当たり前のアクティビティの位置にいる、ヨガ。

まあ、なんか、きっと、間違いなく身体にはいいんだろうけど、あんまりヨガヨガ言われると敬遠しちゃうあまのじゃくなちびろっくは、これまでヨガを避け続けてきた。なんか絶対に否定させないようなクリーン感が嫌で。

が、今回の目的地は「ヨガ発祥の地」と言われている場所。このまま食わず嫌いも良くないので、いい機会だと試してみることにした。

バスを乗り継ぎ、川沿いに延びる道をしばし上がって行くと、だんだん「Yoga」の文字が道路脇の看板に目立ち始める。針葉樹林に囲まれて涼しい風を浴び、こんな清々しい気持ち久々！とか浮かれてると、リシケシのバス停着。坂を下り、川向こうへ行くために橋へ向かう。



家族連れのような老若男女交えた塊がいくつもいくつも、橋のあたりにたむろっている。さすが聖地だね～。正直、橋の入り口ふさがれて邪魔だが、所詮大した目的もない観光客なので、控えめな態度で道をあけていただく。



何事においても近さは重要。橋からすぐそばのアシュラム付き宿に迷わず飛び込む。初心者向けレッスンは1回100ルピー、自由参加で朝と晩の1日2回。アッシャー似の顔ちっさい兄さ

んが、やんわりと教えてくれるヨガはヨガというよりストレッチのような軽いもんだったが、心身ともども軽やかになるのを実感。なんだもっと早くやっときゃよかったよ。一緒にクラスに参加してたおばちゃんは、糖尿病の療養のために来たというだけあって、ボリューム感はんぱねえ。けっこうそういう人いんの？ と聞くと、彼女同様、ヨーロッパからわざわざ来る人は珍しくないとのこと。ほへえ。

確かにここは、空気も眺めもいいし、飲食に関してはなんと酒と肉類が存在しない。自分でも、よく酒がない土地に向かう気になったなと思ったが、全くないとなれば案外大丈夫なもんなのだ。こうなったら野菜と水とヨガで、完膚なきまでに浄化されてやろうじゃないか！

楽しいヨガクラスの後には散歩。

街の外れには、かつてビートルズが住み着いたアシュラムもあり、観光スポットとなっている。



その側を流れるガンジス河は、この後、河口付近で汚物天国へと成り下がる事実など思い出せないほどに穏やかで美しい。



もう少し手前には、ババ（サドゥー、修行者）の溜まり場があり、「茶を飲むぞ」と誘われて輪に加わってみたところ楽しくなり、何度か通った。時々、なぜか全員分の茶代を払うことになったり、チャイ屋でチャイ屋のかわりにチャイを作ることになったりしたが、楽しかったからよ

いとする。リシケシの奴らは特にだが、ババはスタイルも色彩センスも良くて話術にも長けている。日本の海の家とかで働いたらすんげえ人気になっちゃったりしてNaverで誰かまとめるに違いないと思う。



ある日、ババの溜まり場の近くのネットカフェでブログを書いていた。ひととおりの仕事を終え、さ、帰ろ、と立ち上がって固まった。真後ろでホットメールをチェックしていたのがテレビで見たのと同じ、真っ赤な毛布みたいのを纏ったマサイの戦士であったために、今自分がどこのネットカフェにいるのか、本気でわからなくなったのだ。

インドでアフリカ大陸の人を見ることもなかなか無いのに、こんな山中のネットカフェにて、至近距離に、憧れのマサイの戦士が、しかも当たり前のようにホットメールをチェックしているという光景が理解できない。

その異様さは、普段滅多なことでは驚かないインド人が、目を見開いて驚いていたことから伺える。

混乱して、去る戦士を普通に見送ってしまったが、なんだってこんな所にいるのか理由を聞いておけばよかった。一緒に写真撮ってもらえばよかった。後悔している。

うるっせーきったねーインドの中で、久々に穏やかな気持ちで日々過ごしている。リシケシに来てよかった。

初心者コースを1週間ほど続けたとき、アッシャーに、もう慣れたらうからひとつ上のクラスやってみたら？ と提案された。確かに、ストレッチの毎日も楽しいけど、ヨガっぽいヨガもやってみたい。ということでネクストステージに進んでみることにした。

翌朝、いかにも運動のできなそうな、とりあえずヨガやってみたーいなノリの若い女2人とちびろっくを迎えたのは、ドラゴンのようにうねりまくる長い髪をした、顔の彫り1.5倍くらいのトム・クルーズだった。トム・クルーズはアッシャーの10割増しのアグレッシブさで、我々を追い立てる。

「ワニのポーズ!! ほら早くやって!! ワニだよワニ!! ワニ知ってるでしょ? あのワニ!!」

「リラー—ックス!! だめ力入ってる、もっと力抜いて抜いて抜いて!!」

「ジャンプジャンプジャンプジャンプもっと高くもっと高くもっと高く!!!」

「はいガンバレガンバレこのポーズができるようにならないと次いけないから!!」
次とか、い き た く ね え。



その朝以降、ちびろくがレッスンに姿を見せることはなかったという。

デリーに帰ります。

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選り分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

【作者・情報提供者一覧】

特集インドネシアで情報提供いただいた方のTwitterID

[@plant_wolf](#) [@i_wish_nepal](#) [@27tsuna](#) [@z_diacgold](#) [bachiko9552](#)

旅人からの伝言 特集 インドネシア 情報・写真提供

ぐっさん

アジアを中心に今まで20カ国回ってきました。現地の生活・文化を見るのが好きなので、できる限り現地でホームステイをしています。日本では教員をしていますので、授業で生徒に世界の素晴らしさを伝えています。

旅人からの伝言 特集 インドネシア 中表紙写真

エッセイ 旅ときどき・・・ 本文&写真

鈴木モト

男性 静岡県出身。高校時代、陸上でインターハイ出場。ベストタイム10秒84 (100M)

美容師免許、管理美容師免許取得。

MIXIコミュニティー、「鈴木が書く世界一周旅行記が好きだ」2800人突破。

http://mixi.jp/view_community.pl?id=3502328

現在、一眼レフカメラ片手に世界を放浪中。

ブログ「地球の迷い方。～世界放浪編～」

<http://ameblo.jp/roundtheworld200130/>

個人旅行のコモディティ 語学留学検証@南アフリカ共和国 本文

谷川和哉 (Kazuya Tanigawa)

自分の知らない世界に触れたくて、初めてカナダに行ったのが高1。国内外問わずウロウロと。多くの街に行くよりは、一つの街でじっくりと人に触れる旅がしたい。現在は、技術者として腕みがき、翻訳ボランティアをしながら、エネルギー問題の解決方法を考える日々。誰か一緒にやりましょう。100人100旅；第1、3、5弾 執筆者。100人100旅を通して東京、名古屋、京都、熊本、函館、イタリアで写真展

を開催。個人的にも名古屋の旅人と共に写真展を開催する。

Twitter ; [@ponn_kazuya](https://twitter.com/@ponn_kazuya)

個人旅行のコモディティ 「体験する旅・現地調達する語学留学」本文・写真
船橋証考

銀行を退職後、2010年と2012年に旅をして世界二週を達成。

現在は地元市役所で働きつつ次の旅の機会を模索中。

<https://www.facebook.com/masataka.funahashi>

<https://twitter.com/FunaMasa>

Where the hell is Masa? 世界中でプラトーンしてきた

http://youtu.be/Nl6yA3_khiA

個人旅行のコモディティ 世界一周編 本文

大谷 浩則

猪突猛進のトイレットパッカー。現在世界2周目！フィリピン留学からスタート。
旅のPodcast配信しています！

Podcast:ウィーリーのバックパッカーラジオ 世界一周アワー

<http://tabitabi-podcast.com/sekai1/>

Blog:ウィーリー 海外放浪×地球一周×フィリピン留学 ~実況！旅人アワー~

<http://ameblo.jp/hero23/>

Twitter:[@taniwheelie](https://twitter.com/@taniwheelie)

一本の糸で世界をつなぐチャリの旅 本文&写真

Connection of the Children

<http://coccococ.web.fc2.com>

田澤儀高

横浜国立大学大学院音楽教育専攻一年。ピアノと自転車旅が大好き。小さい頃からチャリで遠出するのが趣味。将来は学校の先生になって音楽の素晴らしさを子どもに伝えたい。そしてユーラシア横断の旅で感じてきたことも。

加藤功甫

横浜国大大学院保健体育科専攻。ユーラシア大陸を横断後、ロングディスタンストライアスロン世界選手権出場。人のため、地球のために。ワクワクすることを。一

本の糸で世界の子どもをつなぐ旅プロジェクト企画中。

一人旅卒業後、ミャンマー留学 本文&写真

yukkichalk

ビール+鯖+笑い=Happyな東京人。

教師→バリスタ→看板描き→OL後、毎年訪問でハマリすぎたミャンマーに留学中。

<http://blog.goo.ne.jp/yukkichalk>

旅で使えるスマホアプリ 本文

ワールドハッカー

元バックパッカー、現在は職業ハッカーをしています。

ブログ『World Hacks!』にて海外旅行関連の情報を毎日発信しています。

<http://bit.ly/WorldHacks>

Brali Vol.1からVol.13まで13連続記事掲載・写真提供。

自炊派の手料理 本文&写真

谷津 達観(やつ たっかん)

料理の道を歩んでいたが、突然夫婦で403日間、35ヶ国を周る世界一周の旅に！！

日本に帰ってきたかと思えば今度は仕事で香港在住決定！！

「家から徒歩一年☆たっかんとじんみの2人世界一周」

<http://ameblo.jp/worldjourney2010/>

エッセイたびたべ 本文&写真

沢井ブルース

旅する武術家 空手では国際大会優勝経験アリ

現在は東南アジアを中心に放浪及び武者修行中

ヘタクソな文章ではありますが、気楽に読んでもらってBraliの中の「箸休め」的な存在になれたらなーと思ってます

人生、酒と泪と旅と武術 梵我一如 覚有情

アジア漂流日記 本文 & 写真

Chibirock

Sigur RosとBeirut巔頂のメタル好きバックパッカー。チベット越えてインドで太って台湾の農家で大豆を選び分けたり。最近結婚したが放浪やめる気毛頭無し。

<http://blog.chibirock.net/>

表紙写真

旅先の変な日本語

HANGOVER in the WORLD「フルーツビールと18日限定ドラフトビール」

自炊派の手料理 本文 & 写真

marrontino

お酒と料理が好きな普通のおじさん。

【協力】

向井通浩

JAPAN BACKPACKERS LINK 代表・運営管理者。「ハニートラップ研究所」所長。タイマッサージ依存症。ホワイト餃子。バックパッカー新聞編集長。

<http://backpackers-link.com>

<http://www.mag2.com/m/0001521550.html>

小田奉路

海外起業家's EGG主宰

<http://worldsegg.com/>

<http://archive.mag2.com/0001295311/index.html>

【広告】

カオサン東京ゲストハウス

<http://www.khaosan-tokyo.com/ja/>

Maison D'hote Amande chez noriko

<http://amandecheznoriko.web.fc2.com/>

Instituto Cultural Oaxaca

<http://www.icomexico.com/jp/index.php>

【編集後記 Fistera】

これを皆さんが読まれているということは、なんとか2周年の発行ができたということですね。ありがとうございます。

これからも紆余曲折しまくりながら続けて行きたいです。

これを読んで、「また旅にでたいっ！」ってなってくれたら嬉しいです。

さて、夏本番ですね。うちのプランターではズッキーニが実をつけて美味しくいただきました。

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○旅イベントや旅ブログなど旅に関する新情報や更新情報をビジュアルで告知するサイト

<http://event.brali.net/>

そして、Facebookページもやってます！ぜひとも「いいね！」してください。

Twitterとは別の情報も掲載してますので。

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

さらには！NAVERまとめで旅に関することもまとめてますので、見てくださいね。

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

Brali Bizからセミナーを始める企画も準備中です。

「旅、インバウンド、アウトバウンド、海外」等のキーワードで独立や週末起業や

副業など検討の方向けに、その方面の識者や経験者などを講師に迎え、セミナーを企画しています。

皆様のご感想などもお待ちしております。ちょっとしたメモ程度でもかまいませんので、感じたこと気づいたことなどお送りください。

mailto:bralimagazine@gmail.com

<http://brali.net/toukou#.USgiYqW-2So>

次号予告（2013年8月25日発行予定）

- テーマ「タベルトイウコト」
- Brali Biz 「旅」×「ビジネス」
- HANGOVER in the WORLD
- 特集 ロシア
- エッセイ旅トキドキ・・・
- 一本の糸で世界をつなぐチャリの旅
- 連載ミャンマーレポート「一人旅卒業後、ミャンマー留学」
- 自炊派の手料理
- エッセイたびたべ
- アジア漂流日記
- 旅先の変な日本語
- トホホな話
- 個人旅行のコモディティ
- （仮称）体験する旅

記事と情報および写真の募集要項

次回のBraliの発行予定は2013年8月25日です。

下記の記事や情報をお気軽にお寄せください。ご応募いただきました中から厳選して掲載させていただきます。

★記事および情報

■特集 ロシア →2000字以内

■テーマ 「タベルトイウコト」旅先で食べた思い出深い話や旅先で考えさせられた食べるということ、社会問題としての食料廃棄や貧困問題まで。

■（仮称）体験する旅 →Braliでは、観るだけや行くだけじゃなく体験する旅を推奨します。旅で体験したことを写真とともに記事にして送ってください。例えばスペインでシェリーの注ぎ方マスター、インドで綿の収穫、モンゴルで羊の乳搾り、カナダでメイプルシロップ作り、海外日系企業で職業体験などなど。こんな体験してきたけど、どう？って教えてください。2000字以内。

■個人旅行のコモディティ →なんだかパック旅行でもないのに均一化する個人旅行。旅人の数だけ旅があるはずなのに、なんだかみんな同じ旅してない？「語学留学」、「世界一周」、「旅ブログランキング」のいずれかの内容であなたの考えを記事にしてお送りください。2000字以内。

★写真

■Brali表紙用写真

特集の地域で撮影された写真を募集します。

★随時募集（掲載はいつになるかわかりません）

■旅で使えるデジタルアプリ →旅で役に立ったアプリを教えてください。

■HANGOVER in the WORLD →旅先での酒や酒場にまつわるショートコラムをお待ちしています。

■変な日本語→海外でよく目にする「変な日本語」。写真とどこで撮影したかを教えてください。

■海外支援団体などの団体さん、活動PRや支援募集などBraliに無料掲載いたし

ます。取り組みなどのPRなどにご利用ください。

■海外ボランティアツアーや海外青年協力隊参加などの体験談を大募集しています。旅行では体験できないことや、秘話などをお待ちしています。

■巻末ショートエッセイ→テーマは自由の旅に関する短文を募集します。旅で見たもの、感じたこと、はまったことなど。→1000字以内

記事投稿および投稿に関するご質問はメールにてお願いします。

bralimagazine@gmail.com

投稿フォーム

<http://p.tl/Mi5K>

<http://bralimagazine.blogspot.jp/2011/11/blog-post.html>

奥付



Brali

●公式サイト

<http://brali.net>

○Brali Job バックパッカーだって働きたい。帰国後のお仕事探しサイト

<http://job.brali.net>

○Brali情報ノート 安宿のリアルでナウな情報ノートをウェブ上でみんなで作ってみんなでシェアする

<http://note.brali.net>

○Brali Circus イベントもブログの更新も旅に関することならなんでも拡散

<http://event.brali.net>

●Facebookページ

<http://www.facebook.com/Bralimagazine>

●NAVERまとめ

<http://matome.naver.jp/mymatome/kurinobu>

●mixiページ

<http://p.mixi.jp/brali>

●twitter

<https://twitter.com/bralinet> (Official)

<http://twitter.com/2moratorium>

【Braliの指針】

旅人は、旅をすることにより、その国や地域の人や文化に触れ、体験し、多様な価値観を知り、違いを理解し、享受することができます。

また旅に出てみるのが、日本や居住地などの良し悪しや文化、社会、諸問題を見つめなおすきっかけになります。

そんな機会と経験を無駄にせず社会に活かす旅人の可能性を信じています。
旅人を増やし、旅に出る回数を増やし、旅に出る時間を増やすことを目的の一つと
します。

そのためにも旅で得た情報や経験（インプット）を表現（アウトプット）する場と
機会をメディアで提供し経験した人とは共有し、経験していない人へは追体験をして
もらいます。

また旅での経験を社会に活かす（例えば仕事や起業あるいは社会貢献やボランテ
ィアなど）仕組みづくりを行ないBraliも社会に寄与します。

編集：くりはらのぶゆき

発行：くりはらのぶゆき